

令和 6 年度山口県立大学 国際文化学部国際文化学科

学校推薦型選抜（地域貢献人材発掘枠）「小論文」問題用紙

問

女性が自転車に乗り始めた 19 世紀末に起こったことについて記述した以下の文章を読み、次の問いに答えなさい。

他の女性サイクリストの草分けたちは実際に暴力をふるわれた。貴族女性のドロシア・ギブはヨークで安全自転車に乗り始めたところ石をぶつけられたが、それでも彼女はペダルを漕ぐことをやめず、娘にあなたも乗ってごらんと勧めるほどだった。ロンドンで初めて自転車に乗った女性のひとりと噂されるエマ・イーズは、男女双方からレンガをぶつけられ「家に帰れ」の声を浴びた。他の多くの女性たちと同様に、それでも彼女は自転車に乗り続けた。レスター・スクエアにあったアルハンブラ大衆演芸場で観客の前に自転車曲芸の数々を披露することにした際には、彼女の家族はあまりに憤慨したためその件について一切語ろうとしなかった。

先に触れた、ケンブリッジ大の校舎に閉じ込められた女子学生たちとサイクリングする女の人影を掲げ表であざけりの大笑いをあげていた男性暴徒の図（6 枚の 2 参照）は、一九世紀におけるジェンダー規範がいかに構築されていたかの格好のたとえだ。男性と女性は公／私の分離した領域(separate spheres)に存在するものとされており、女は家庭に閉じ込められ、人様の前でうろうろするのではなく家族の面倒をみるものだった。労働、政治、学習といった社会的および公的な世界は男に独占された領域だった。これは、女性がひとりで通りを歩いているだけでも公共秩序が乱れかねない時代の話だ。ひとり歩きする女性には売春容疑で逮捕されるリスクが伴った。新たな自転車に乗って女たちは家庭という名の牢獄から脱出し、はっきり目に見える形でストリート空間——男たちの縄張り——を占めていった。ケンブリッジ大で学んだ女性と同じように、彼女たちもよく煙たがられた。

(中略)

公的な場で身体を使う活動だけに、サイクリングはこの女らしさの規則に抵触した。安全自転車の出現まで、仮に富裕階級の女性がスポーツをたしなむことがあるとしたらそれは上品で「淑女にふさわしい」ものに限られていた。クロッケー、弓術、ゴルフ、庭球は塀の向こうあるいは私有の庭でおこなわれ、詮索好きな目から逃れられるスポーツゆえ差し支えないとされた。水泳は一九二〇年代まで男女別だった。この時代の女性水着はビキニよりブルキニ（※イスラム女性信者向け水着。顔と手足の先だけ露出し体型をあらわにしないデザイン）にはるかに近く、ブルマーと黒ストッキングを穿いた上に膝丈のウール製水浴ドレス（屋外プールの水路を泳ぐには役立たずな出で立ちだ）をまとってもなお水着姿の女性は礼儀正しい社会においては際ど過ぎる光景とされた。

(中略)

一八九六年に、『マンジーズ・マガジン』誌は男性にとって自転車は「たかが新たな玩具」に過ぎないが、女性にとっては「彼女たちが新たな世界に乗り出す馬」であると宣言した。

(中略)

大学教育が家庭以外の新たな機会へのドアを開けたのと同じように、移動と新世界の探索を約束したローバー安全自転車は洒落なホビーでは済まされない存在だった。多くの女性が耐えてきた閉じ込められ、じっとおとなしくしていることを強制された暮らしぶり、その正反対の在り方を象徴し実現させたのが自転車だった。

出典: ハナ・ロス、坂本麻里子訳『自転車と女たちの世紀——革命は車輪に乗って』、株式会社 P ヴァイン、2023 年、45 頁-47 頁、50 頁-51 頁。出題のため、原文を一部改変した。

- 問 1. 自転車が社会にもたらした影響について、「ジェンダー規範」をキーワードとして本文中の言葉を用いて 200 字以内で説明してください。
- 問 2. 女性が自転車に乗ることに反対する人々がいたように、ある人々が抱いている規範意識によって、あなたが行おうとすることに反対する人々がいたとします。その場合、あなたはどのように、また、なぜあなたはそうするのかについて論述してください。その際、これまでに経験したことや、これから行おうとしている具体的な事例を用いて 400 字以内で記述してください。



1897年にケンブリッジ大学で起きた女学生の学位取得に反対する
抗議デモでの自転車に乗った女性の人形(ひとかた)
Getty Images Hulton Archive

令和6年度山口県立大学 国際文化学部国際文化学科
学校推薦型選抜（地域貢献人材発掘枠）「小論文」出題意図

出典

ハナ・ロス、坂本麻里子訳『自転車と女たちの世紀——革命は車輪に乗って』、株式会社Pヴァイン、2023年、45頁-47頁、50頁-51頁。出題のため、原文を一部改変した。

出題意図

出題のために引用した文章は、技術が社会で活用される際に生じる、価値規範の衝突について自転車という具体的な技術をもとに説明を行っている。文章中の「ジェンダー規範」をキーワードとして、行為の背景に存在する規範性に目を向けさせ、これから生じる課題をどのように解決していくべきかについて、自身の経験や目標などを具体的に書かせた上で、自ら抱く規範性や相手が抱いている規範性にまで考えを巡らすことができるかどうかを測定することを目的とした。問1では知識（文化を理解するために必要な知識）、技能（日本語の正しい運用能力・課題文を理解する能力）を問い、問2では思考力（具体例から解答に至るまでの一貫性）、判断力（適切な具体例の選択）を用いて、表現（説得力のある内容）できているかを問うものである。